

経営比較分析表（令和5年度決算）

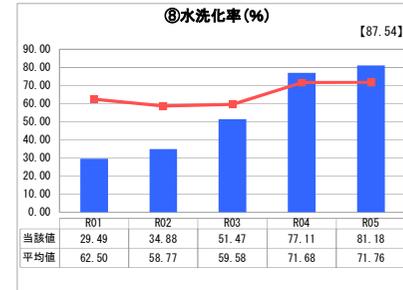
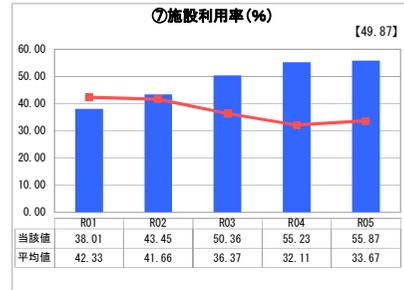
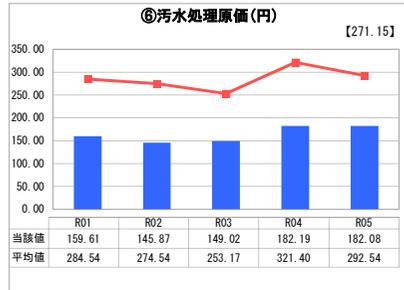
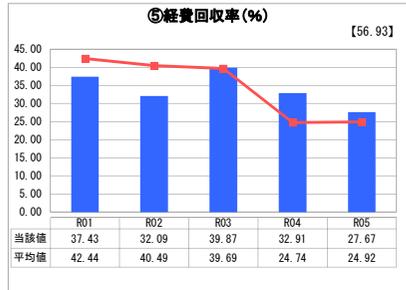
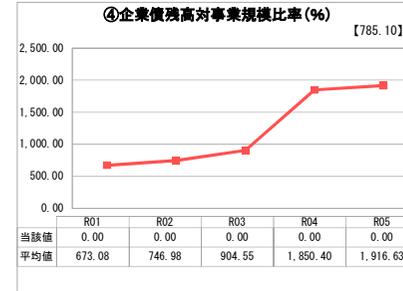
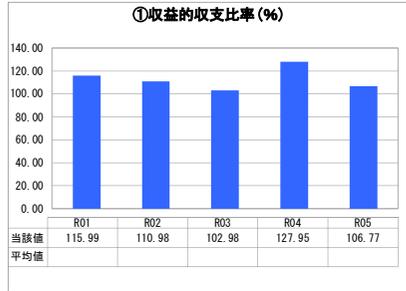
沖縄県 金武町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	82.88	107.71	1,200

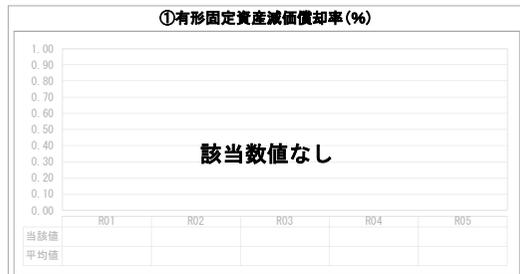
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
11,452	37.93	301.92
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
9,471	2.65	3,573.96

グラフ凡例
■ 当該団体の値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
□ 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①金武町下水道事業施設は、供用開始から年数が経過していることから、管理費及び修繕費が増加しており、依存財源31.8%(133,244,000円)、自主財源18.2%(29,652,000円)で費用(162,896,000円)を随っています。

④企業債借入れはありません。

⑤経費回収率は、令和3年度をピークに下降しているが、類似団体平均値に近い値を示しており、地方公営企業法適用に向けた費用の影響となります。

⑥汚水処理原価は、150.00円前後で推移していたが、管理費や修繕費の増加などにより182.08円と令和4年度と比べ横ばいとなっている。

⑦施設利用率も下水道接続件数の増加に伴い若干の上昇傾向となります。

⑧水洗化率は上昇傾向ではあるが、まだ低く、下水道接続推進に取り組んでまいります。

2. 老朽化の状況について

金武町農業集落排水は、屋嘉地区が平成24年度に供用開始し、並里・金武地区が平成28年度に供用開始しております。管渠においては老朽化は見られませんが、中継ポンプ施設のポンプや機器類、処理施設内設備の修繕が年々増加している状況となります。

全体総括

平成28年度から供用開始した並里・金武地区農業集落排水の接続率向上を図るため、住民周知や接続工事費の補助金を積極的に行い、自主財源である下水道使用料の増加を目指してまいります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。